



QRコード決済って？

■電子支払いシステム／手軽にキャッシュレス化

ブン子さんは北陸経済研究所（富山市）の辻野秀信主任研究員に聞きました。

Q－何のことかしら。

A－2次元QRコードを使って買い物の支払いを済ませる仕組みです。スマートフォンの読み取り機能などを活用します。クレジットカードや電子マネーの場合は、店舗に置く専用端末が必要となりますが、QRコード決済は設備負担が少ないキャッシュレス決済として注目されています。

さまざまなタイプの決済方式

プリペイド方式 (前払いチャージ型)	ポストペイ方式 (後払い引き落とし型)	即時決済方式 (銀行口座連動型)
	クレジットカード	デビットカード
電子マネー		
交通系電子マネー 楽天 Edy (らくてんエディ) WAON (ワオン) nanaco (ナナコ) など	ID (ドコモの電子マネー) アイディ QUICPay (クイックペイ) など	現金支払い
QRコード		
LINE Pay (ラインペイ) など	PayPay (ペイペイ)	楽天ペイ (ラクテンペイ) Amazon Pay (アマゾンペイ) など Origami Pay (オリガミペイ) ゆうちょ Pay

Q－どんな仕組みかな。

A－クレジットカードなどの情報を登録した専用アプリがQRコードを映し出し、店のPOS端末などで読み取ってもらう方法と、店が提示するQRコードをアプリで読み取って購入金額を入力する支払方法の2通りがあります。スマートフォンさえあれば、屋台などでもQRコードを店頭に掲げるだけで決済できるという手軽さがあります。中国では急速に普及しており、「アリペイ」や「ウィーチャットペイ」などペイ系アプリと総称されます。

Q－日本での動きは。

A－スマートフォンユーザーの多くが利用しているLINEの決済アプリ「LINE Pay (ラインペイ)」が先行しています。Yahoo!とソフトバンクが提携している「PayPay (ペイペイ)」が昨年12月に「100億円あげちゃうキャンペーン」という還元セールで話題になり、利用者を増やしつつあります。いろんな決済手段が選べ、今年2月には「ゆうちょPay」の参入によって、口座即時引き落としなどの選択肢も増えています。

Q－富山県でも利用が広がっているのかな。

A－LINE Payと並んで国内で初期からサービスを提供している「Origami Pay (オリガミペイ)」が県内の七つの信金と提携し、店舗への導入を進めています。オリガミペイのサービスは導入費用や年間手数料が無料のため、小規模店舗のキャッシュレス化が進むかもしれません。QRコードを活用したキャッシュレス決済は、交通系ICカードなどのインフラが完備されていない地方でこそ、威力を発揮すると思います。